

鎌倉市川喜多映画記念館 企画展のご案内

〔企画展〕開館 15 周年記念 鎌倉・川喜多邸を訪れた映画人

会期:2025 年 8 月 2 日 (土) - 11 月 24 日 (月・振)

企画展観覧料: 一般 300 円、小・中学生 150 円 ※鎌倉市民は無料 (要証明書)



鎌倉市川喜多映画記念館は、映画を通して国際交流に尽力した川喜多長政・かしこ夫妻が暮らした旧宅跡に 2010 (平成 22) 年 4 月に開館し、今年 15 周年を迎えました。かつてこの地は、田中絹代、笠智衆やアラン・ドロン、ヴィム・ヴェンダースら国内外の映画人が訪れ、国際交流の場となりました。川喜多夫妻の心を込めたおもてなしは、映画に生涯を捧げた一人娘・和子にも引き継がれ、現在も残る別邸は、訪れた映画人たちの当時の様子を物語っています。

開館 15 周年を記念した本展では、川喜多夫妻による映画界への貢献を振り返るとともに、かつてこの場所を訪れた映画人との交流を紹介します。会期中は別邸の解説付き見学会や、関連上映、トークイベントも開催します。ぜひこの機会に皆様のご来場をお待ちしています。



◆企画展見どころ◆

- ★鎌倉・川喜多邸を訪れた映画人と川喜多家の交流の様子がわかる写真パネルをはじめ、ポスターや手紙など約 240 点の資料を紹介。
- ★川喜多長政が製作した貴重な映画 3 作品、鎌倉を舞台にした映画など計 16 作品を上映。
- ★通常の公開に加えて、月 2 回の解説つき見学会など旧川喜多邸別邸 (旧和辻邸) をご覧いただける機会を数多く提供 (日程等の詳細は次ページを参照)。

◆上映: 川喜多長政・かしこ夫妻とゆかりのある映画人の作品を上映◆

<アラン・ドロン>

『太陽がいっぱい《4K レストア版》』(1960 年)、『太陽はひとりぼっち』(1962 年)、
『サムライ』(1967 年)

<フランソワ・トリュフォー監督>

『突然炎のごとく』(1962 年)、『終電車』(1980 年)

<川喜多長政 関連作>

『新しき土 [日英版]』(1937 年)、『東洋平和の道』(1938 年)、『萬世流芳』(1942 年)

<小津安二郎 × 笠智衆 × ヴィム・ヴェンダース>

『東京物語《4K デジタル修復版》』(1953 年)、『東京画《2K レストア版》』(1985 年)

<田中絹代 出演作・鎌倉舞台の映画>

『黄色いからす』(1957 年)、『結婚式・結婚式』(1963 年)

<今日出海 関連作>

『愛情の決算』(1956 年)

<鎌倉文士原作・鎌倉舞台の映画>

『千羽鶴』(1953 年、原作: 川端康成)、『日も月も』(1969 年、原作: 川端康成)、
『辻が花』(1972 年、原作: 立原正秋)

映画鑑賞料金: 一般 1300 円、小・中学生: 650 円 (展示観覧料含む)

*当館では<4K>と記載されている場合でも<2K>上映となります。

*『東京物語《4K デジタル修復版》』、『黄色いからす』は英語字幕付上映です。



サムライ (1967 年)

東京物語《4K デジタル修復版》
(1953 年)

日も月も (1969 年)

◆特別上映①◆

2025 年 8 月 30 日（土）13：30～

特別上映

『太陽がいっぱい』上映＋トークイベント
「アラン・ドロンのよみがえる太陽の神話」

ゲスト

もり ゆうき
森 遊机 さん

（映画研究家／書籍編集者）

類いまれな美貌と無二の存在感でファンを魅了、恋愛映画からノワール系アクション、TVのCM出演まで多彩に活躍し、親日家としても知られた大スター、アラン・ドロンの数々の苦難に見舞われながらもそのつと華麗に復活し、昨年8月に89歳の生涯を全うした彼の素顔と功績を、書籍「アラン・ドロンとフランス映画の時代（仮題）」（DU BOOKS・今冬刊行予定）を執筆中の森遊机さんに、多数の資料をもとにお話いただきます。

特別上映料金：一般1900円、小・中学生：950円（展示観覧料含む）

◆特別上映②◆

2025 年 9 月 28 日（日）12：30～

特別上映

『萬世流芳』上映＋トークイベント
「川喜多長政 仕事と人」

ゲスト

さいき ともり
佐伯 知紀 さん

（映画映像研究者／特定非営利活動法人 映像産業振興機構顧問）

1928年の東和商事創立以来、欧州映画の日本への輸入・配給、戦時中の中華電影の経営、戦後の日本映画の海外紹介など、時代ごとにさまざまな形で「映画を通じた国際交流」に尽力した川喜多長政。そんな長政の生涯、そして映画界への貢献を、7月に評伝「川喜多長政 映画を産業に育てた日本人」（日経BP 日本経済新聞出版）を上梓したばかりの佐伯知紀さんにお話しいただきます。

特別上映料金：一般1900円、小・中学生：950円（展示観覧料含む）

◆旧川喜多邸別邸（旧和辻邸）◆

1961（昭和36）年、練馬で暮らした哲学者・和辻哲郎が使用していた江戸時代の民家を隣に移築し、国内外の映画人を招いてもてなしました。普段は非公開ですが、以下の日程およびギャラリートークの際にご覧いただけます。

解説付き見学会
（要展示観覧料）

企画展会期中の
毎月第2・4土曜日
13:00～（約20分）

一般公開
（無料）

10月
4日（土）・5日（日）
各日10:00～16:00

特別公開
（要展示観覧料）

11月
1日（土）～3日（月・祝）
各日10:00～16:00

ギャラリートーク
（要展示観覧料）

8月17日（日）、9月23日（火・祝）、
10月26日（日）、11月16日（日）
各日13:00～（約40分）

*企画展「開館15周年記念 鎌倉・川喜多邸を訪れた映画人」の見どころを当館学芸員が紹介します。

*ギャラリートーク終了後に、旧和辻邸の見学ツアーを開催します。（約10分）



*一般公開、解説付き見学会、ギャラリートークは土間までの入場となります。特別公開は靴を脱いで邸内をご覧ください。

*いずれの公開も天候等の事情により中止となる場合があります。

お問い合わせ：鎌倉市川喜多映画記念館（担当：阿部）

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12

TEL:0467-23-2500 / FAX:0467-23-2503

MAIL:contact@kamakura-kawakita.org

HP:https://kamakura-kawakita.org

※企画展情報や詳しい上映スケジュールは当館HP
（https://kamakura-kawakita.org）をご覧ください。

Kamakura City Kawakita Film Museum
鎌倉市川喜多映画記念館